

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 花房 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

本校児童は、運動が好きと答えた児童が多く、全国平均を大きく上回っている。好きな理由としては、体を動かすとすっきりとするや友達と一緒に活動できるからと挙げている児童が多い。実際に運動をしている児童も平均を大きく超えている。しかし、コロナ前に比べると運動の時間が減ったと感じている児童が半数近くいるのも実態である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育科の学習の時間には、その日に行う運動に合わせて準備運動を行っていくが、本校では以前から柔軟性に課題がみられるので、柔軟性を高める準備運動は毎回取り入れていくようにしたい。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

中休みのランニングタイムは、3年目の取り組みになるが来年度も継続して実施していく必要がある。保護者へは、1月に行われる持久走記録会に向けて、持久力アップの取り組みとしてランニングタイムを行うことを学校だよりなどで知らせしていく